



千地申
17-19号

2016・2017政策フォーラムの提言実現に向けた団体交渉を行う!

「政策フォーラム」は、職場の将来像や職場を良くするための方法を組合員の視点で提言する取り組みです。今回、政策フォーラムで発表された提言の実現を目指し、地本は千葉支社と団体交渉を行いました。

◆空港第2ビル駅で海外のお客さまの誤乗（東京方面でなく成田空港行に誤乗）が多いことへの提言

(組合) 空港第2ビル駅での訪日旅客へのご案内強化のため、ホームへの案内スタッフの常駐と、ホームでの自動放送・LED案内表示の強化を行うこと。

(会社) 自動放送・LED案内表示を強化した。特にLED案内表示は、輸送混乱時に誤表示 改善が進んだ
することがあったため、出発信号機を通過することで表示を切り替えるよう改修した。ことを確認!

◆NEX車内で、クレジットカードでの支払いを希望するお客さまが多いことに対する提言

(組合) 車内における運賃・料金のクレジットカード支払いについて、車掌～指令～駅の連絡体制の煩雑さの解消と、駅係員のホーム出場の負担を解消するため、業務連絡書でお客さま 業務連絡書は実現できず!
自身が駅係員に申告する形式へと取扱いを変更すること。 しかしクレジット対応が煩雑で

(会社) 列車内での運賃・料金のクレジットカード支払いは、取扱い変更を他支社や あることは認識一致し、引き
JR他社と統一する必要があるため、現行の取扱いで対応されたい。 続き改善を目指すことを確認!
なお、現金支払いができるよう成田空港駅にATMを設置してきた。引き続き乗車前の事前購入を奨励し、車内清算の削減に努める。また、NEX車内に「ご利用案内」のパンフレットを設置している。

◆新検見川駅(駅遠隔操作システム被制御駅)にてお客さまが線路に転落した際、転落を目撃した別のお客さまがインターホンで稲毛駅(制御駅)に通報したものの、稲毛駅から新検見川駅の列車を遠隔操作できず、指令経由での列車抑止となった事象に対する提言

(組合) 駅遠隔操作システム被制御駅の列車非常停止警報装置を、制御駅から遠隔操作で動作させられるよう改修すること。なお、被制御駅を優先してホームドアを整備すること。

(会社) 制御駅にて被制御駅に進入する列車を緊急停止する場合は、輸送指令へ 列停の改修は実現せず!
連絡する。なお 駅から輸送指令への連絡は、確実につながるよう整備している。 安全第一の駅を目指し
ホームドアは、被制御駅かどうかではなく、ご利用状況等を勘案し整備していく。 継続して要求します!

◆車いすで遠方から乗車し、木更津駅で久留里線への乗換を希望されたお客さまに対し、久留里線内の設備がバリアフリー非対応のため、木更津駅で事情を説明しお戻りいただいた事象を受けての提言

(組合) 久留里線について、車椅子のお客さまが不自由なくご利用いただけるよう、ホームと列車の段差解消、ホーム入口通路の拡幅、階段のスロープ化などを行うこと。

なお、久留里駅での階段経由の乗換えを解消するため、久留里駅での接続列車を直通運転すること。
(会社) ホームかさ上げ等は、ご利用状況等を鑑みて予算を確保できず、現行設備で対応されたい。なお、観
光流動の多い時期は上総亀山への直通列車の設定に努めている。 これだけでは「顧客満足度No.1」を目指せない!
改善に向けた様々なアプローチを継続します!

◆久留里線がSuica非対応で、ワンマン列車の遅延や木更津駅での清算の増大が生じることへの提言

(組合) 久留里線をSuica対応とすること。飲料自販機はSuica対応にも関わらず列車で使えないのは問題。

(会社) 久留里線をSuicaエリアとする計画はない。なお、引続き本社にSuicaエリア化の上申を行うと共に、
久留里線のご利用増加に努める。 久留里線のご利用増加を図ることが、Suica化に向けた道筋の一つであることを確認!

◆久留里線を観光路線化することで、地域の公共交通としての久留里線を維持・活性化する提言

(組合) 久留里線の観光流動を活性化するため、上総亀山駅と上総中野駅のバス路線での接続等を通じて、久留里線・いすみ鉄道・小湊鉄道での広域観光ルートの造成をめざすこと。なお、久留里線の車両を観光利用できるよう、ボックスシート化、窓の2段窓化、小テーブルの設置等の改造すること。

(会社) 久留里線・いすみ鉄道・小湊鉄道での広域観光ルートの造成については、行政と連携して、サンキューちばフリーパス等を発売しているところである。今後も関係箇所と連携して観光流動の活性化に
取り組んで行く考えである。なお、久留里線の車両は、現行設備で対応されたい。

会社の方向性として、久留里線の活性化に取り組んで行くことを確認!

組合員とお客さまに優しいJR東日本を創るため「2018政策フォーラム(秋頃開催検討中)」にて現場目線での提言づくりを更に深めよう!